

コミュニティを中心とした地域運営体制づくり に関する研修会を開催しました！

- コミュニティを中心とした地域運営体制づくりの推進に向けた機運の醸成を図るために、コミュニティ関係者等を対象とした研修会を令和5年7月9日（日）に東海市役所地下大会議室で開催し、44名の参加がありました。
- モデル地区である「緑陽・渡内・富木島ふれあい・加木屋」の代表者が、昨年度の懇談会の結果や今後の取組の方向性について発表を行いました。
- 講師として、日本福祉大学の吉村輝彦教授をお招きし、「モデル地区のプロセスから生まれた、変化のきざしや気づき」について論点整理をしていただきました。

（１） モデル地区における事例紹介

- 【渡内】子育て世代を対象に地域の魅力を知ってもらうために、本年度に「いちご狩り」を実施し盛り上がった。引き続き、若者や子育て世代とのつながりを広げたい。
- 【富木島ふれあい】モデル地区の取り組みを通じて、コミュニティの本質である将来像や問題点を探るための話し合いができて有意義であった。
- 【加木屋】本年度の4月に実施した「こいのぼりフェス」の結果と今後の取組予定を報告した。また、令和6年3月に予定しているウォーキングイベントを全コミュニティと連携して実施したいという提案があった。
- 【緑陽】地域住民の交流拠点になっている緑陽コミュニティセンターの施設概要と、施設整備にあたり組織・事業・活動拠点・運営方法についてコミュニティ関係者と市職員で検討を進めてきた経緯などについて発表した。



（２） 論点整理「モデル地区のプロセスから生まれた、変化のきざしや気づき」

- 吉村教授からは、地域活動を進めていく上で、様々な課題が生まれているが、「自分のコミュニティがどうありたいか」から考えていくことが大事という提起がありました。
- また、「ワクワクする」、「自分が参加したい」など、楽しいと思うことが主体性・原動力につながることや作成したビジョンは更新していくべきであり、そのためには余白（関わりしろ）が大事というお話もありました。



（３） 参加者同士の意見交換

- 研修会は、市内の全12コミュニティを対象としており、参加者同士で意見交換をする時間を設けました。参加者はそれぞれ所属するコミュニティの現状や抱えている課題について活発な議論を交わしました。



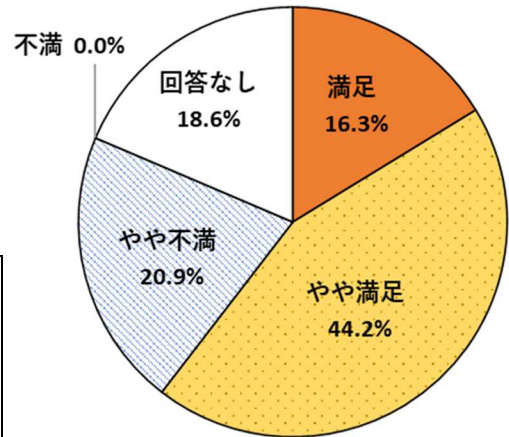
参加者アンケートのまとめ

Q1 研修会の満足度

- 回答者 43 人のうち 16.3%（7 人）が「満足」、44.2%（19 人）が「やや満足」と答えており、半数以上の回答者が研修会の内容を評価しています。
- 一方で、「やや不満」は 20.9%（9 人）となっています。

■満足度の主な理由

- 他コミュニティの活動を把握できた（12 件）
- 他のコミュニティの方と交流し、情報交換する機会が得られた（8 件）
- プログラムの時間が不足しており、十分な意見交換ができなかった（6 件）



Q2 研修会を通じて、とくに学んだこと、印象に残ったこと

- 自分が「楽しい」「ワクワクする」と思うことが、持続性や主体性につながる（6 件）
- 市内でも、コミュニティによって状況もやる気も違いがあること（5 件）
- 多世代の意見を聞き、多くの人が関われるようにしていくこと（4 件）
- 今後の活動やビジョンに対して「余白」が必要だということ（3 件）
- ビジョンをビジョンで終わらせるかどうかはコミュニティの本気度にかかっている

Q3 研修会の運営について、気になったこと、わかりにくかったこと、十分に発言しきれなかったこと

- マイクの調子が悪く、発表が聞き取りにくかった（4 件）
- 事例紹介で、開催までの苦労話や、参考にできる注意点をもっと聞きたかった
- 各コミュニティが新しい人材をどのように見つけ、育てているかを聞きたい
- 高齢化が進み、コミュニティ活動の持続が困難と思われるところもあるので、コミュニティの見直し（中学校区単位など）を検討してほしい
- テーマを事前にアンケートをとって、1 つの問題をディスカッションする時間があれば良かった
- YouTube などでも公開討論会のような形式であれば、参加する人も増えると思う

Q4 今後の研修会のテーマや内容

- 他のコミュニティとの交流や情報交換の時間がほしい（4 件）
- 他コミュニティや他自治体の事例を聞きたい（3 件）
- コミュニティを知らない人や、町内会・自治会未加入者と話し合う機会（2 件）
- コミュニティ役員が楽しみ、やりがいを感じられる運営にするための研修会
- テーマを絞った研修会

Q5 今後のコミュニティの運営について

- 子育て世代が主役となれるよう、若い世代が負担にならないような運営
- 今の運営体制では良くも悪くも地域の伝統が根付き、新しいものが生まれない
- 町内会・自治会未加入者が増え、コミュニティ活動が持続できるか不安なので、他コミュニティと統合するなどの見直しが必要ではないか
- 縮小しているコミュニティのモデル地区を選び、再生プロジェクトを立ち上げてほしい
- 今回のような直接の交流ができなくても、SNS（LINE など）でつながることはできる
- 12 コミュニティ全体でできることがあれば、楽しいと思う

※各回答の内容については、一部抜粋・加工をしています。